

東北地方 1か月予報

(10月21日から11月20日までの天候見通し)

平成18年10月20日
仙台管区気象台発表

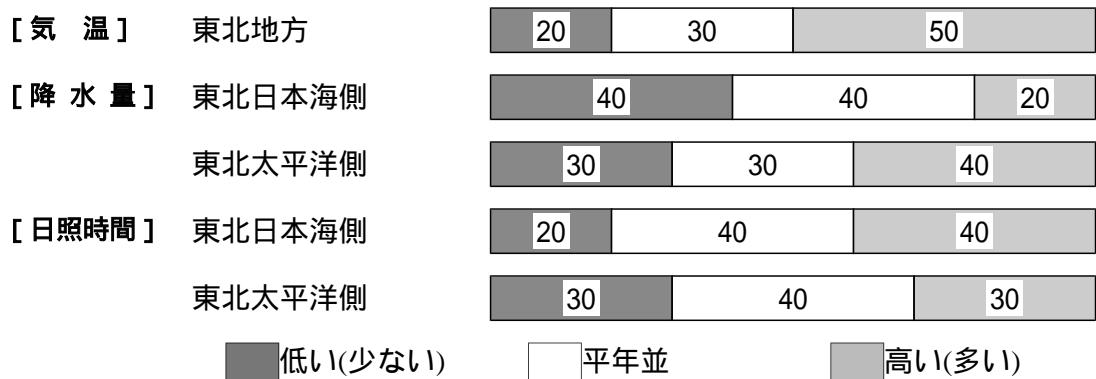
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

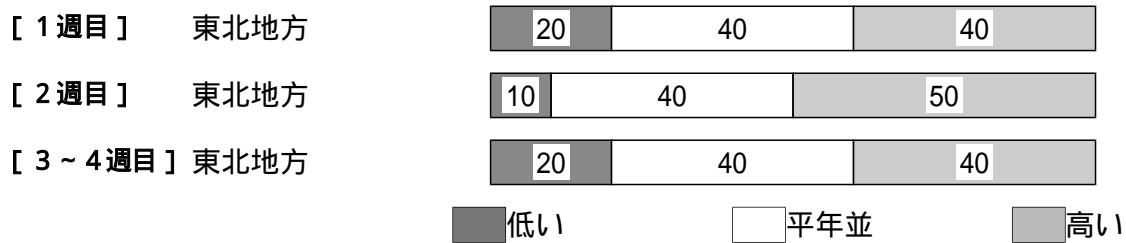
天気は数日の周期で変化しますが、東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は東北地方で高い確率が50%です。降水量は東北日本海側で平年並または少ない確率がともに40%です。日照時間は東北日本海側で平年並または多い確率がともに40%です。

週別の気温は、東北地方で、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月21日(土)~11月20日(月)
1週目 : 10月21日(土)~10月27日(金)
2週目 : 10月28日(土)~11月3日(金)
3~4週目 : 11月4日(土)~11月17日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月27日
3か月予報:10月25日(水) 14時

訂正箇所は、1週目の気温の平文表現で「平年並または高い確率が40%」となっているところを、「平年並または高い確率がともに40%」とします。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	8.6	130.4	116.0	10.9	9.6	7.5
深浦	9.5	155.5	95.2	11.8	10.6	8.5
むつ	8.3	116.8	130.9	10.6	9.4	7.2
八戸	8.7	72.9	152.7	11.0	9.8	7.7
秋田	9.7	181.2	110.9	12.0	10.6	8.6
盛岡	7.7	101.4	134.3	10.0	8.7	6.7
大船渡	10.1	116.1	149.6	12.2	11.0	9.2
宮古	9.6	90.0	157.0	11.5	10.4	8.7
仙台	11.1	77.9	153.3	13.2	12.0	10.1
石巻	10.4	79.8	160.7	12.5	11.3	9.4
山形	9.2	77.7	117.6	11.4	10.1	8.2
新庄	8.3	189.9	81.5	10.5	9.2	7.2
酒田	10.9	209.1	107.3	13.1	11.8	9.9
福島	10.9	71.7	141.6	13.0	11.9	10.0
若松	9.0	73.7	105.6	11.2	9.9	8.1
白河	9.5	74.1	153.8	11.5	10.4	8.7
小名浜	12.6	105.6	166.4	14.6	13.5	11.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.6	83 ~ 112	95 ~ 105
東北日本海側	-0.3 ~ +0.5	92 ~ 107	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	68 ~ 120	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.6
東北日本海側	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年10月20日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月21日~11月20日):

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(10月21日~10月27日):

東北地方は、期間の初めと終わりは高気圧に覆われて晴れますが、期間の中頃は気圧の谷の影響で雨でしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(10月28日~11月3日):

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

3~4週目(11月4日~11月17日):

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側では平年に比べて晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

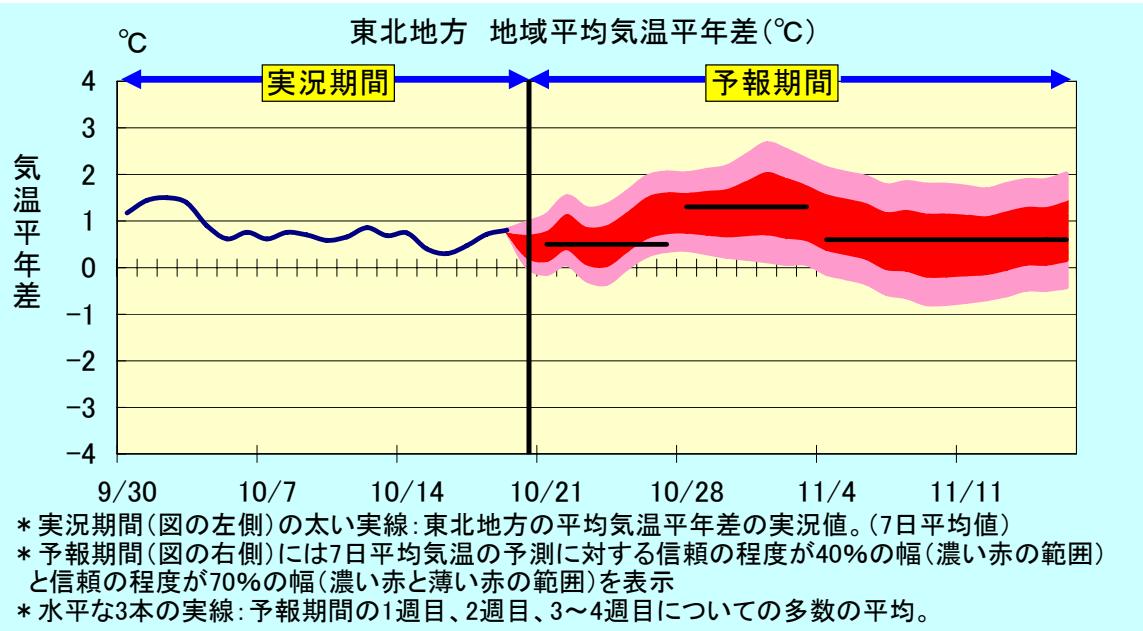
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.0日	3.4日	2.8日	4.8日
東北太平洋側	16.9日	4.5日	4.1日	8.3日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年並、2週目と3~4週目は平年を上回ると予測しています。なお、数値予報の信頼度は小さい。

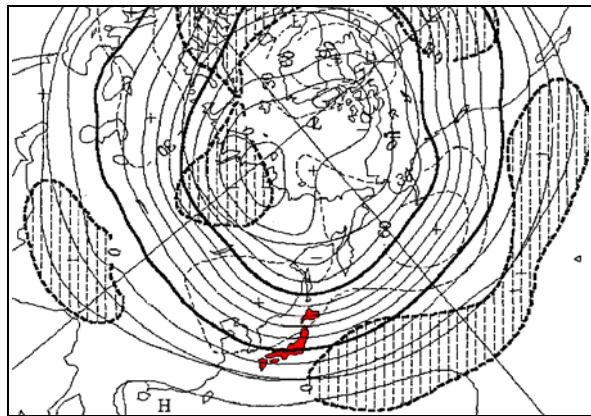


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近はユーラシア大陸から太平洋にかけて広がる正偏差域に覆われている。一方、負偏差は日本の南東海上の東経 140 度付近から東に帶状に伸び、またロシアの東経 90 度付近にも分布。このため、気温は高くなる可能性が大きい。日本付近の偏西風の流れは南北の蛇行は小さい。このため、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化する見込み。

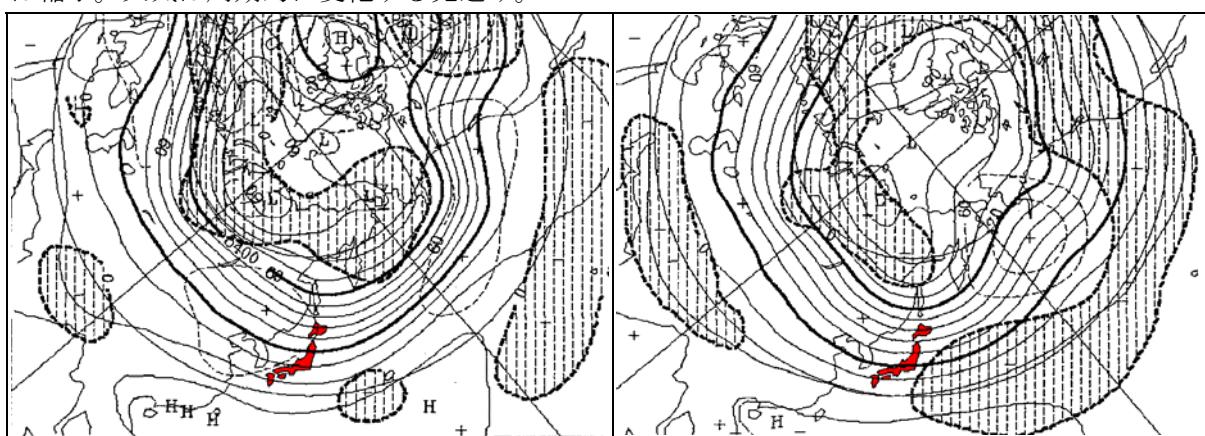
1週目：日本付近は正偏差。一方、シベリアからアラスカ付近では負偏差。天気は周期的に変化する見込み。気温は平年並または高い可能性が大きい。

2週目：日本付近は引き続き正偏差。日本の南東海上から東は帶状に負偏差。シベリアの負偏差域は縮小。天気は周期的に変化する見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

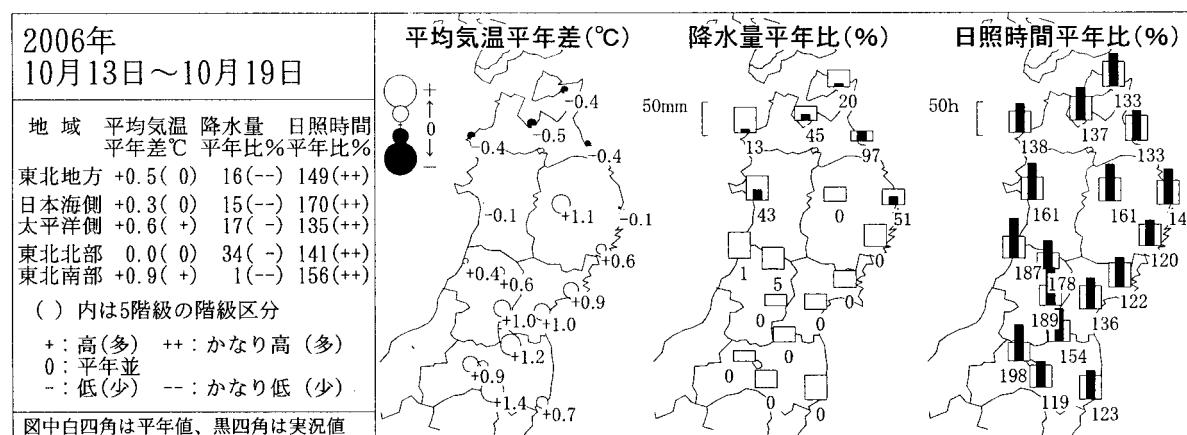
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (10月13日～10月19日) の天候の経過

この期間、移動性高気圧に覆われる日が多く、晴れの日が多かった。16～17日におけるサハリン付近を東進した低気圧に伴う寒冷前線の影響で東北北部を中心に天気が崩れ、雷雨となつた所があった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）